

# 京丹後市立病院改革プラン

## 評 価 調 書

(令和2年度)

病院事業

## 京丹後市立病院改革プラン評価調書

【病院事業】

項目		目標	R2 実績	自己評価	点検・評価意見
大	中				
運営方針	患者本位の安心・安全な病院づくり	予防医療、救急医療、小児・周産期医療、災害・感染症等発生時の医療、リハビリ医療、在宅医療など質の高い医療の提供	<p>公立病院として必要な医療を提供できた。今後も魅力ある病院づくりを進めながら、医療提供体制を確保する。</p> <p>入院患者数 97,377人(前年度比 6,808人減) [B]            外来患者数 161,076人(前年度比 12,564人減) [B]            小児患者数 10,623人(前年度比 5,279人減) [C]            救急患者数 7,125人(前年度比 2,949人減) [C]</p> <p>分娩数 200件(前年度比 105件増) [A]            リハビ<sup>レ</sup>リテーション 681人(前年度比 176人減) [C]            透析患者数 12,776人(前年度比 1,129人増) [A]</p> <p>訪問診療 271人(前年度比 50人増) [A]            訪問看護 22,696人(前年度比 3,536人増) [A]            訪問リハビ<sup>レ</sup>リテーション 332人(前年度比 8人増) [A]            通所リハビ<sup>レ</sup>リテーション 3,993人(前年度比 189人減) [B]            医師派遣(福祉施設) 397回            医師派遣(野間診療所) 47回            医師派遣(宇川診療所) 6回            医師派遣(佐濃診療所) 47回</p>	B	
	不断の改革改善による持続可能な病院経営の確保	医師、看護師体制の充足	<p>京都府や府立医科大等の医局に依頼を常時行っているが、常勤医師の確保は大変厳しい状況であり、不足する医科について非常勤医師を確保し、外来等に対応した。            また、将来の医師体制確保のため、医療確保奨学金を5人に貸与した。            弥栄…常勤医が予定より5人不足            久美浜…常勤医が予定より3人不足</p> <p>看護師については、各種学校にも広報等を行い人材確保に努めており、定期的に職員採用試験を行い、必要数を確保できている。            また、将来の看護師確保のため、看護師等修学資金を17人に貸与した。</p>	B	
	地域に開かれた病院づくり	市民と医療従事者が力を合わせて地域医療を支える開かれた病院づくり	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、弥栄病院では、ボランティアは可能な範囲で受入れしたが、高校生のオープンホスピタルの院内事業は中止とした。            久美浜病院では、出前講座や懇談会は控えたが、当該感染症の予防対策等の出前講座は実施した。</p>	A	

京丹後市立病院改革プラン評価調書

【病院事業】

項目		目標	R2 実績	自己評価	点検・評価意見
大	中				
運営方針	専門性と総合性を兼ね備えた総合医を育む魅力ある病院づくり	多様な医療を学ぶ研修医、研究者等の臨床・研究拠点として、引き続きハード・ソフト両面の環境整備に努め、医師、看護師の体制確保を図る	<p>初期研修医の受入 [A]</p> <p>弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第一赤十字病院 5人×1ヶ月</li> <li>・京都第二赤十字病院 4人×2ヶ月</li> <li>・神戸市立医療センター中央市民病院 13人×1ヶ月</li> </ul> <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都第二赤十字病院 9人×2ヶ月</li> </ul> <p>専攻医研修医の受入[A]</p> <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都洛和会音羽病院 4人×3ヶ月</li> <li>・京都第二赤十字病院 2人×3ヶ月</li> </ul> <p>歯科後期研修医の受入 [A]</p> <p>久美浜 1人×12ヶ月、2人×6ヶ月</p> <p>看護学生の受入 [A]</p> <p>弥栄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護、助産 日星高校、 日本医療学園附属東亜看護学院 18人</li> <li>・訪問看護 京都府立看護学校 4人</li> </ul> <p>久美浜</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・看護 日星高校、京都府立看護学校など 49人</li> <li>・言語聴覚士研修生 姫路医療福祉専門学校 1人</li> <li>・消防本部救急救命士研修（就業中研修） 京丹後市消防本部、与謝宮津消防組合消防本部 44人</li> </ul>	A	
	長寿医療で健康寿命の延伸を図るなど長寿時代のモデル病院に	京都府立医科大学との共同研究講座「長寿・地域疫学講座」を中心に、その研究成果を広く地域社会に還元	<p>平成27年12月に「長寿・地域疫学講座」を開設。</p> <p>平成28年度より京都府立医科大学から医師2人が派遣されている。</p> <p>平成29年8月から本格的な長寿健診を開始し、令和2年度末までに762人の方が健診を受けた。</p> <p>一定の研究結果が出た段階で市民に還元することとしているが、現在は基礎データを蓄積する段階であり、令和2年8月に第3回中間報告会を開催した。</p>	A	
一般会計の負担について		市民の方々が安心して暮らすために、救急医療、小児医療、周産期医療、へき地医療、高度医療、リハビリテーション医療など一般的に不採算医療と言われる部門も担っており、このような医療環境を維持・継続していく必要があるため、繰出基準を基本として、一般会計から繰入れを行う	<p>繰出基準に基づいた一般会計からの繰入金。</p> <p>令和2年度から新たに「不採算地区に所在する中核的な病院の機能の維持に要する経費」に対する繰出基準が創設されたことにより一般会計からの繰入金が増加した。</p> <p>一般会計からの繰入金 1,270,876千円 (前年度比 143,799千円増)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・弥栄 671,081千円</li> <li>・久美浜 599,795千円</li> </ul>	B	